

埼精診 自殺調査結果

平成19年度(平成19年5月—20年4月)

平成20年度(平成20年5月—21年4月)

平成21年度(平成21年5月—22年4月)

3年間の自殺報告数(144名)一覽

	平成19年度 59人	平成20年度 44人	平成21年度 41人
男女比	1対1.2	1対1	1.4対1
死亡時 平均年齢	45.4歳	44.4歳	47.3歳

自殺報告診療所数(3年間)

- 33診療所(60診療所中55%)

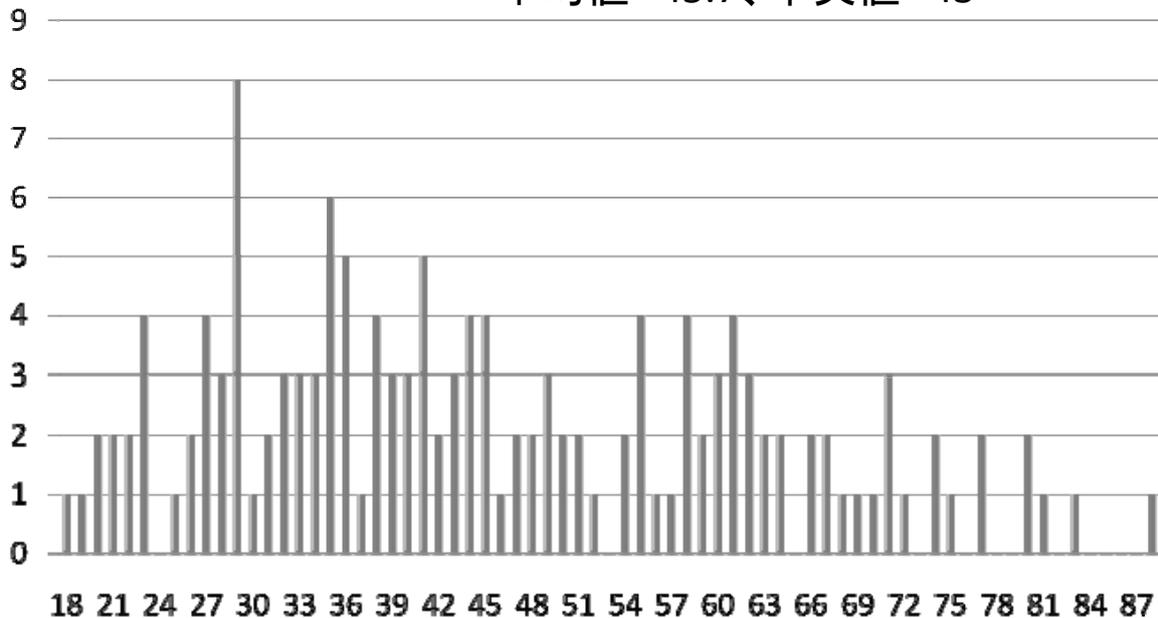
1診療所当たりの自殺者数(3年間)

- 平均4.5人
- 最高値17人
- 標準偏差値4.1

3年度分の自殺者144人の年齢分布

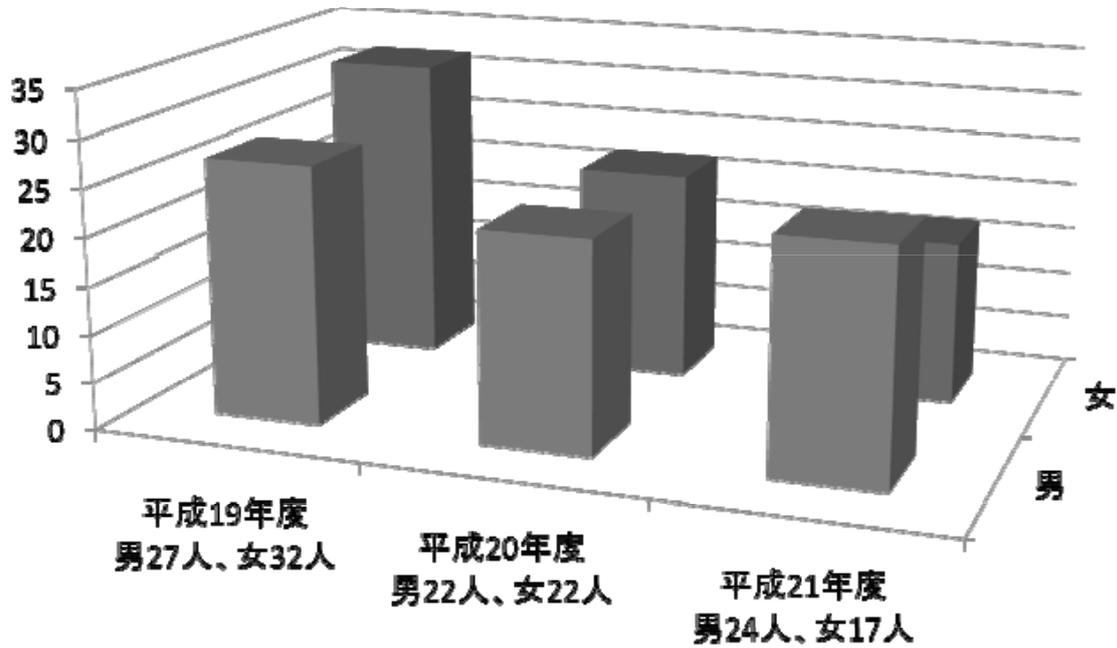
人数

平均値 45.7、中央値 43

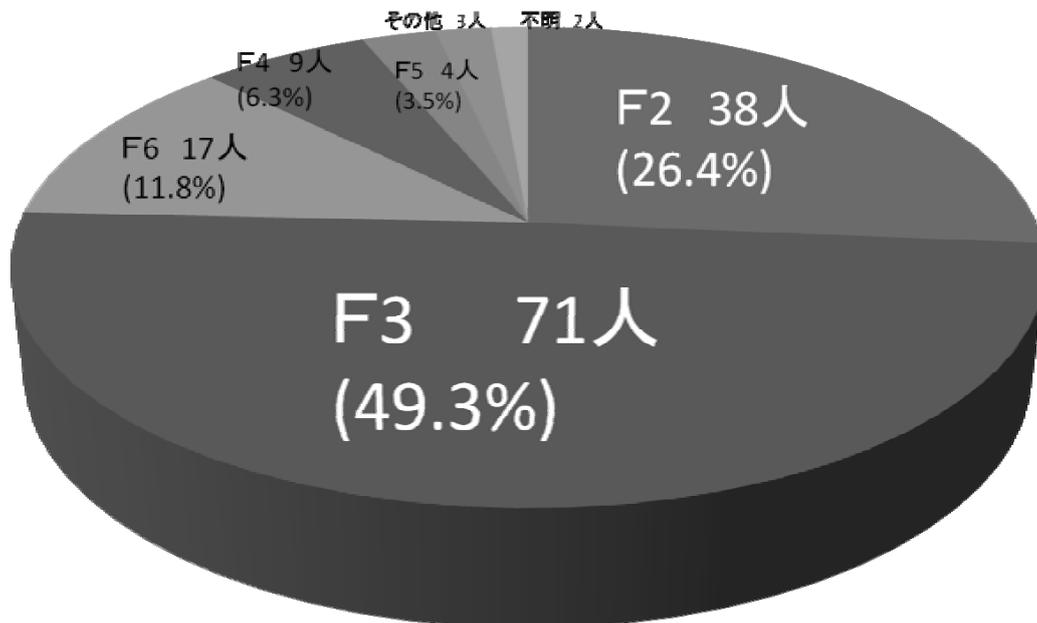


年齢

年度毎の報告数

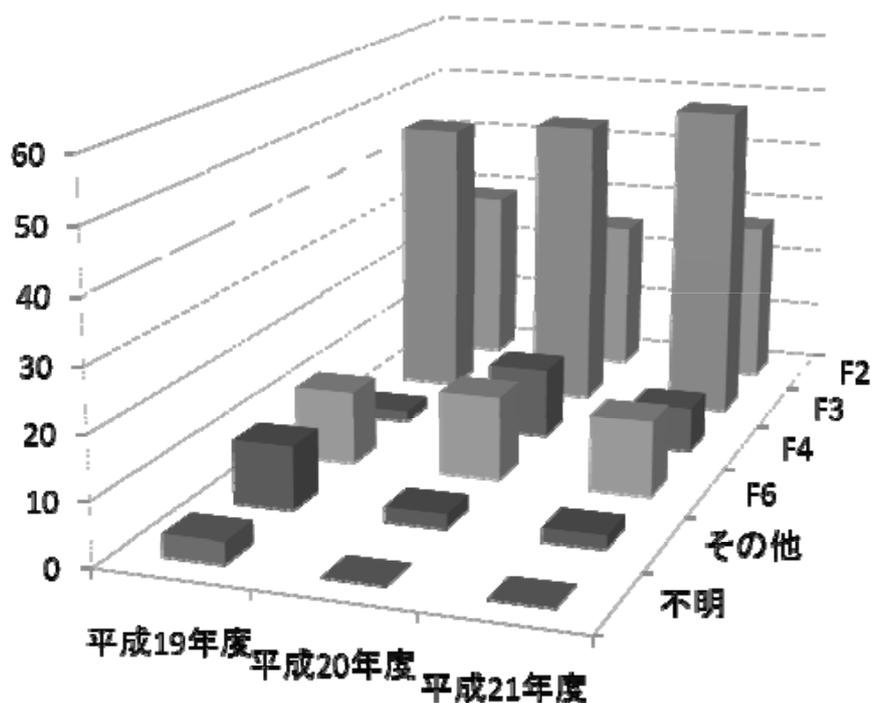


3年度分の自殺者144人の診断

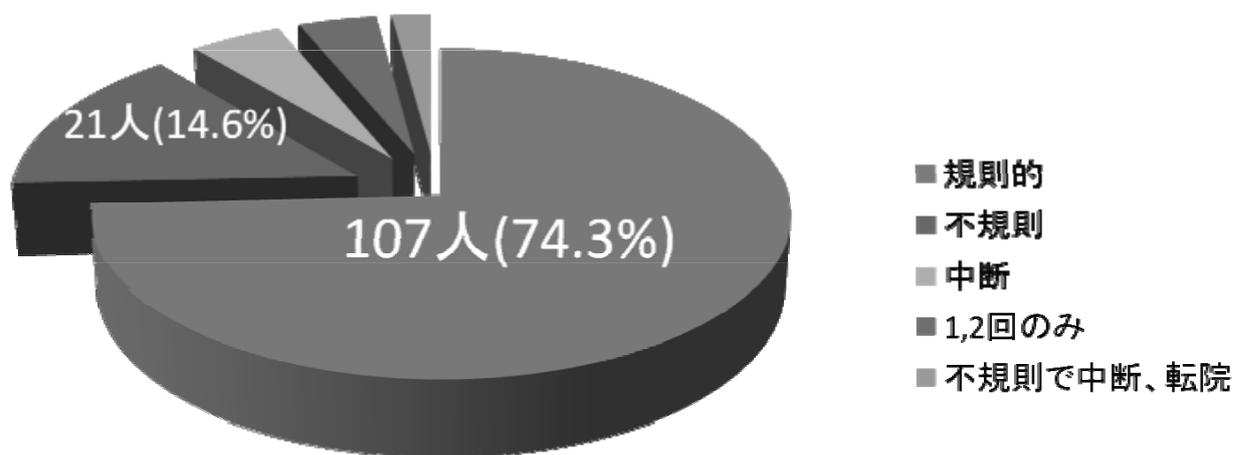


F2 38人のうち、統合失調症が33人、F3 71人のうち、うつ病が66人

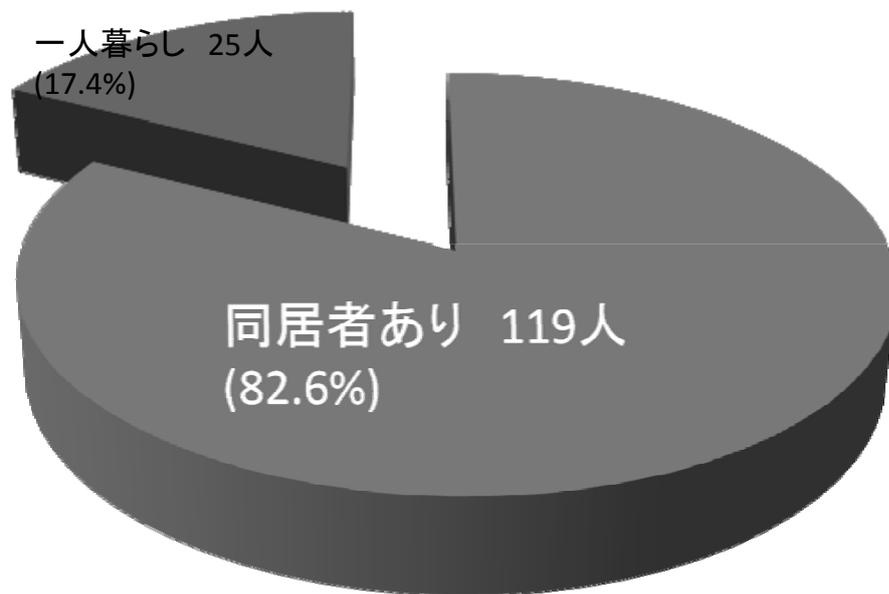
各年度毎の自殺者の疾患割合



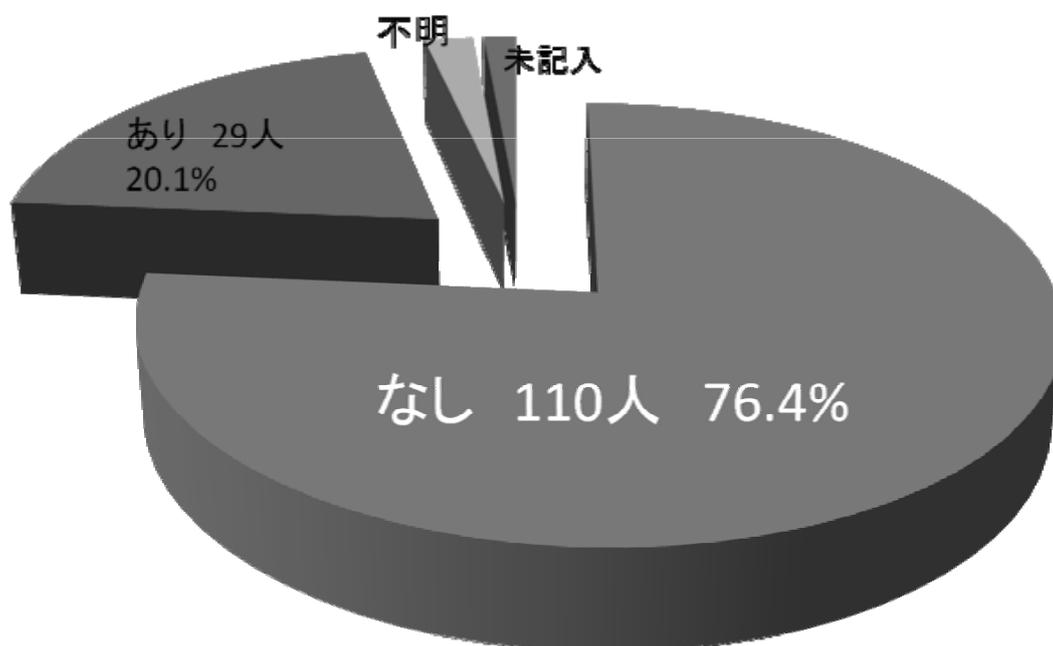
通院状況 3年度分144人



3年度分144人の同居者の有無



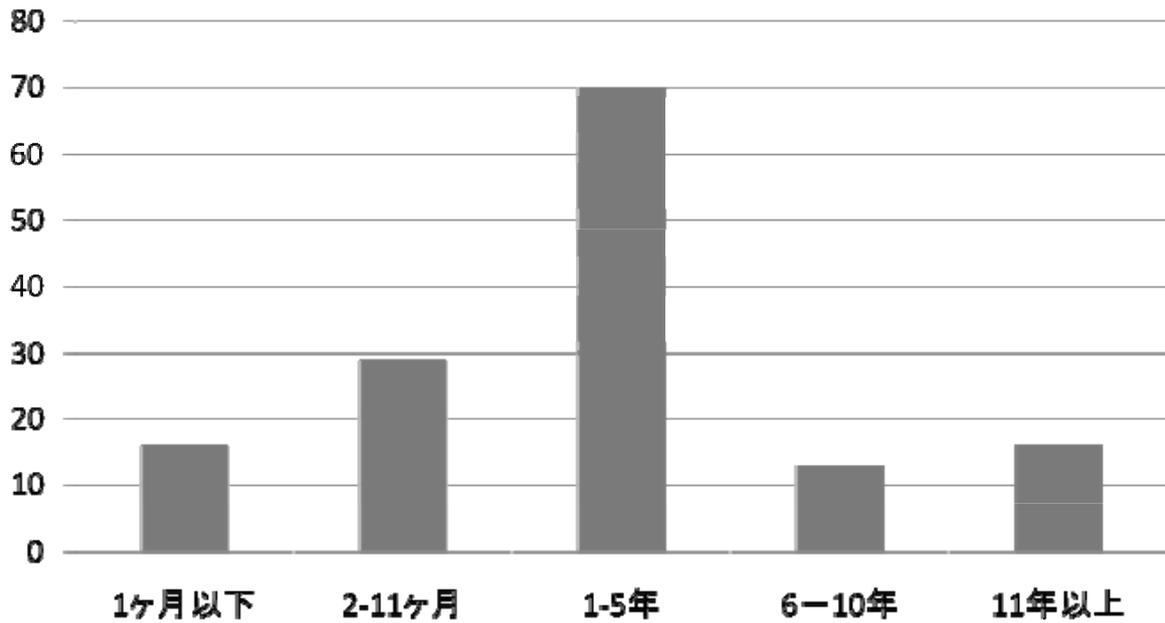
3年度分144人の身体疾患の有無



C肝、視力障害、高血圧、高脂血症、糖尿病、前立腺肥大、その他

3年度分144人の通院期間

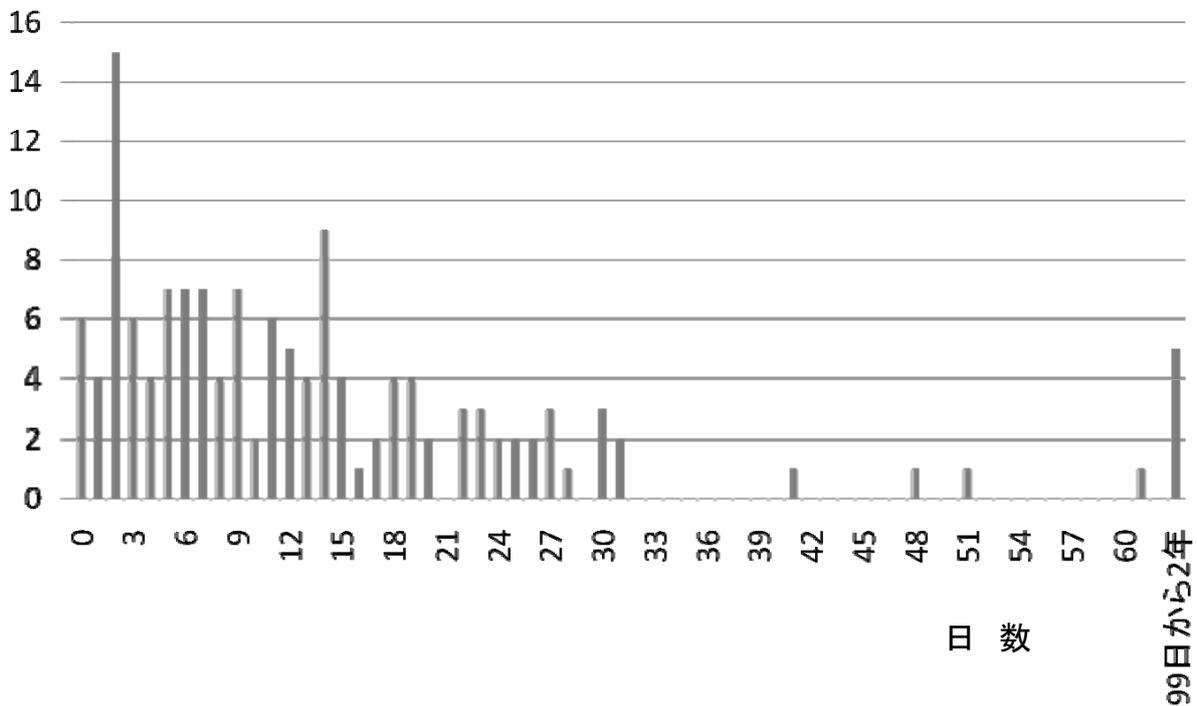
人数



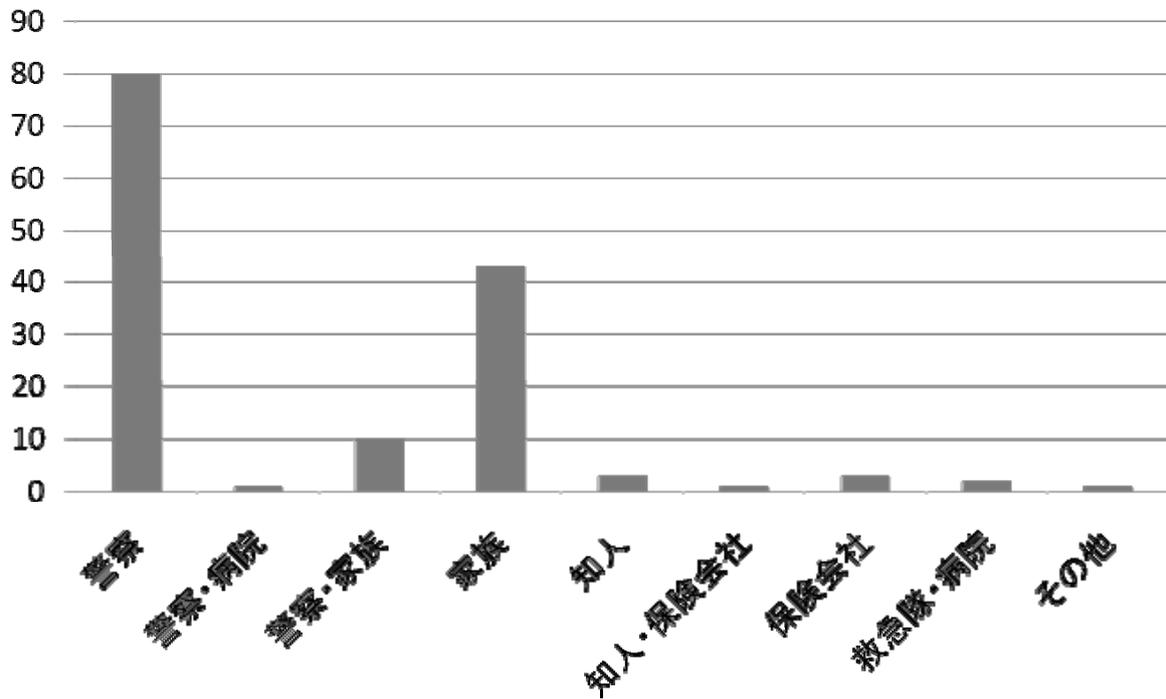
終診日からの日数

3年度分144人(不明3人) 中央値 11

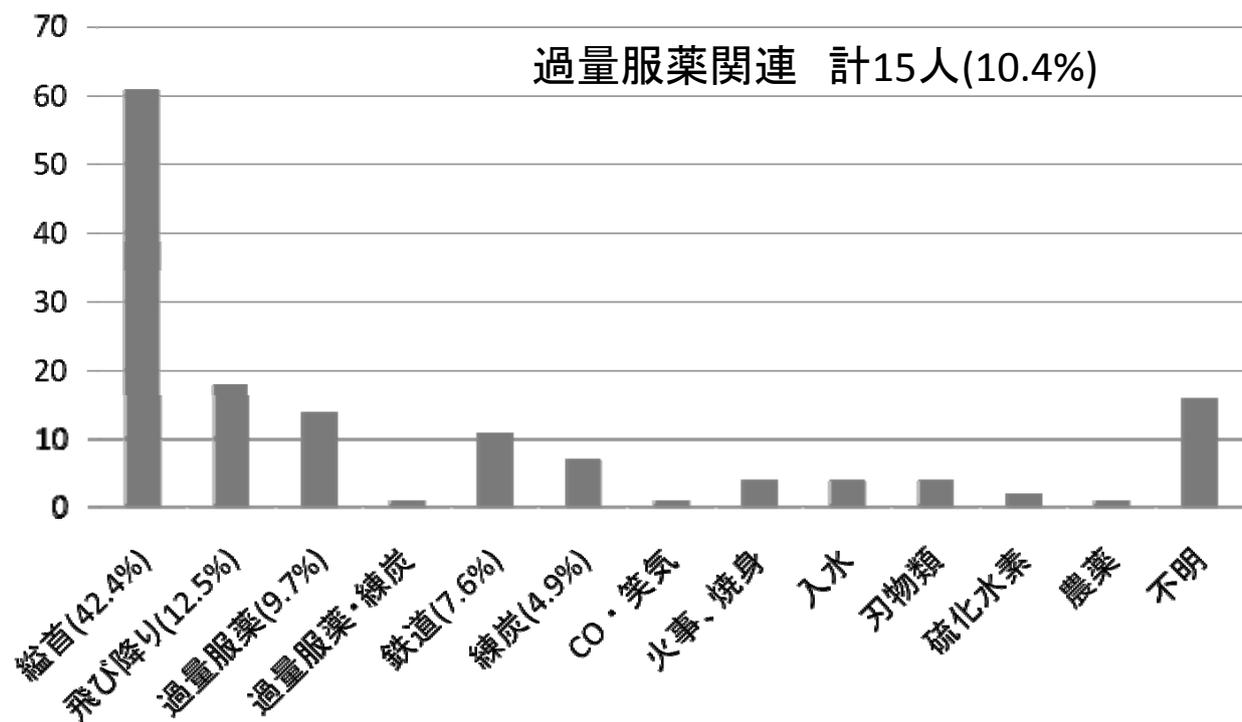
人数



自殺の連絡方法、3年度分144人

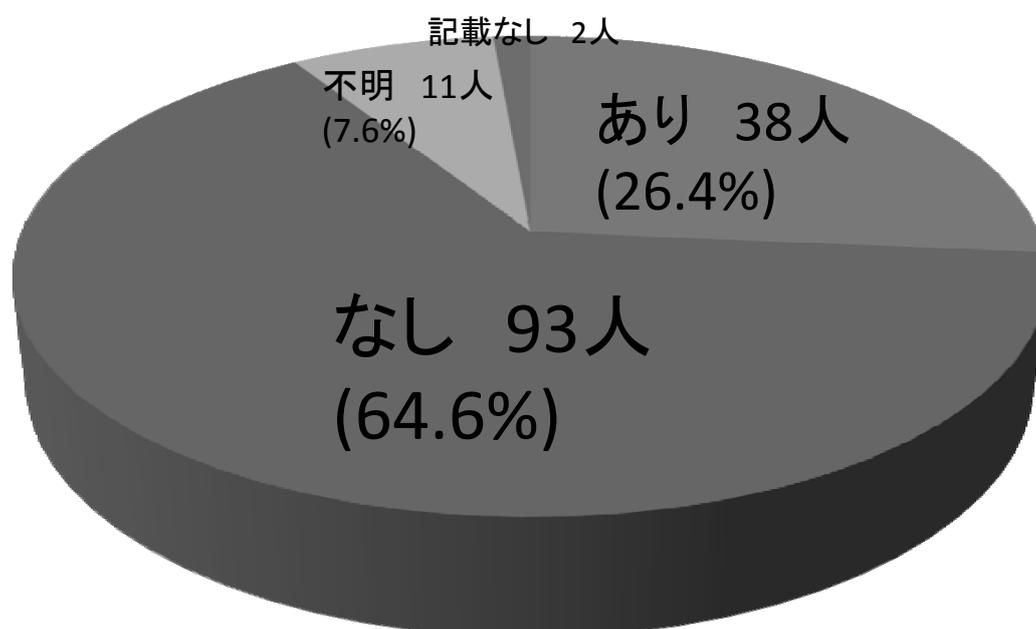


自殺の手段、3年度分144人

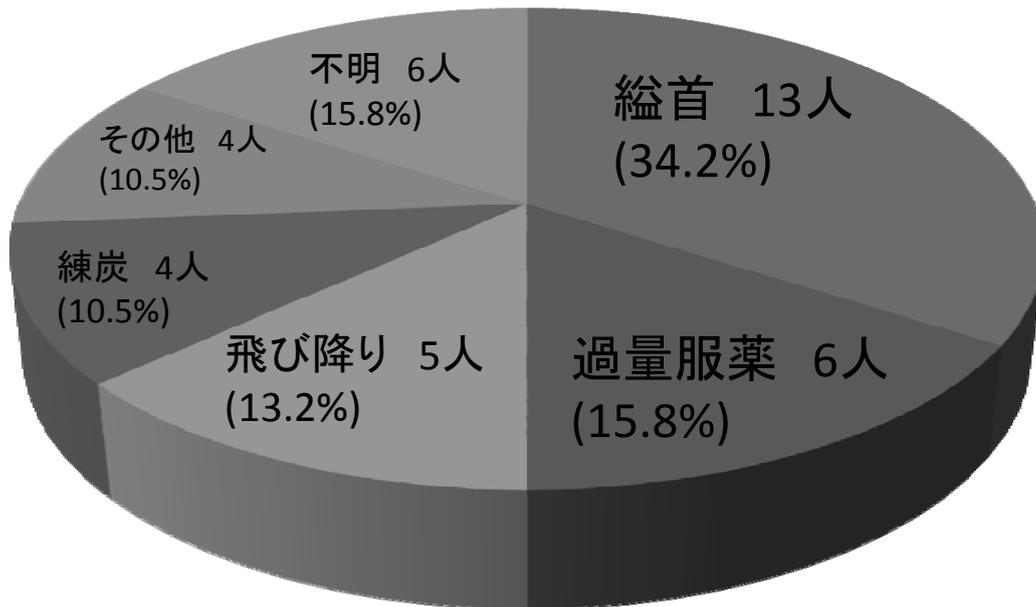


3年度分の自殺者144人の 過量服薬について

3年度分144人の過量服薬の有無

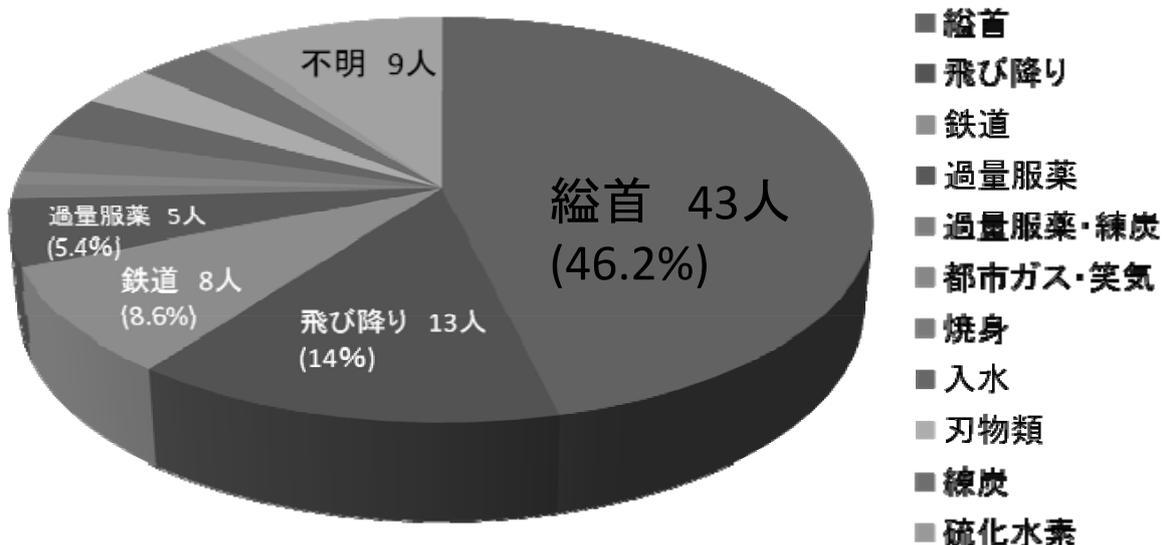


過量服薬既往者38人の自殺の手段



その他4人： 入水、刃物、硫化水素、鉄道

過量服薬の既往のない自殺者93人の自殺の手段

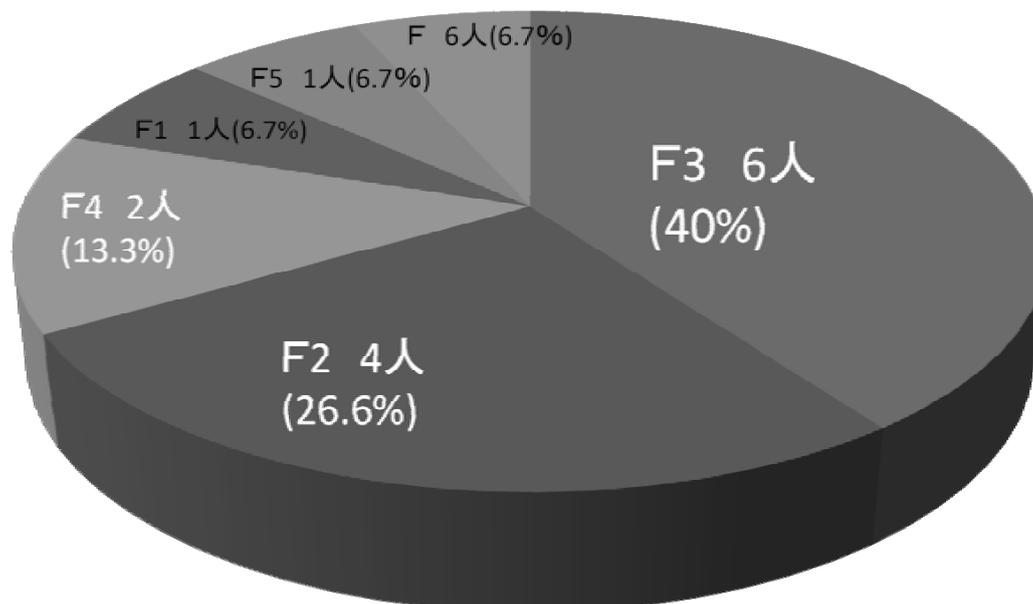


過量服薬関連は、6人(6.5%)

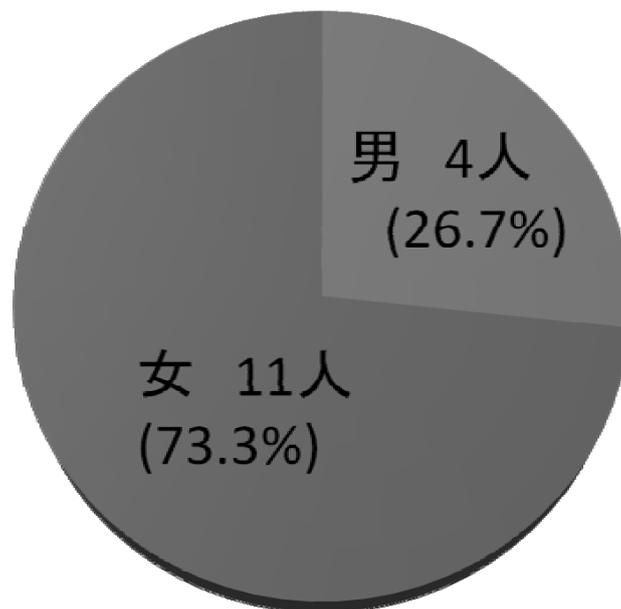
過量服薬の既往と過量服薬死との関係

過量服薬の既往	過量服薬死
あり 38/144人(26.4%)	6/38人(15.8%)
なし 93/144人(64.6%)	6/93人(6.5%)
不明・未記入13/144人 (9.0%)	3/13人(23.1%)

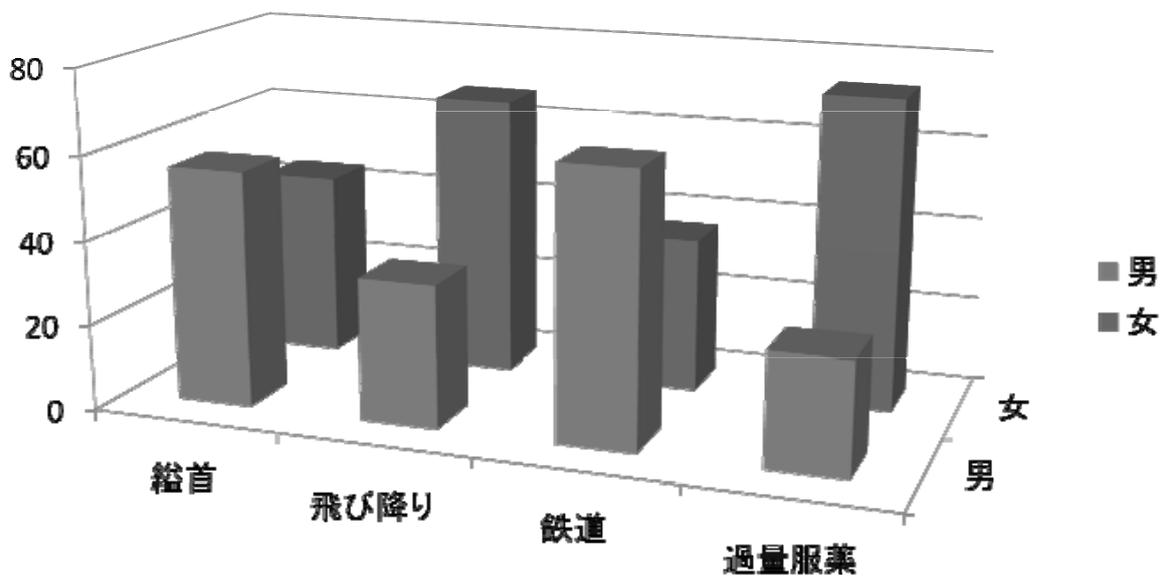
過量服薬による自殺者15人の診断



過量服薬による自殺者15人の性別

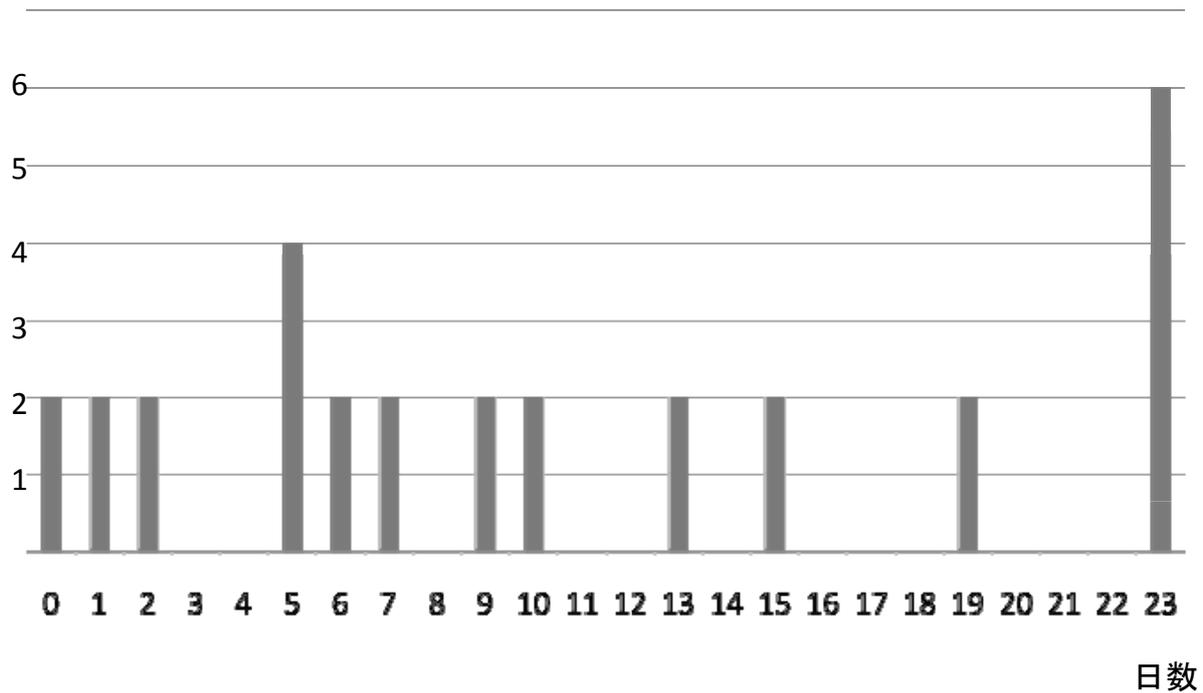


主な自殺の手段の男女比



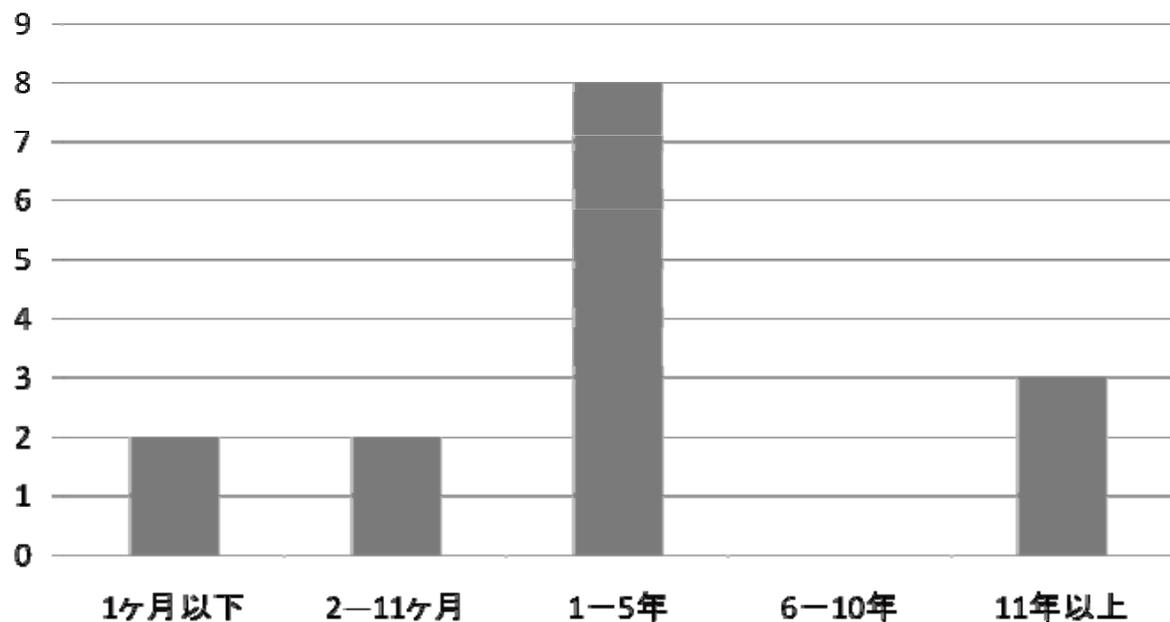
過量服薬による自殺者15人の終診日 からの日数 (中央値 9)

人数

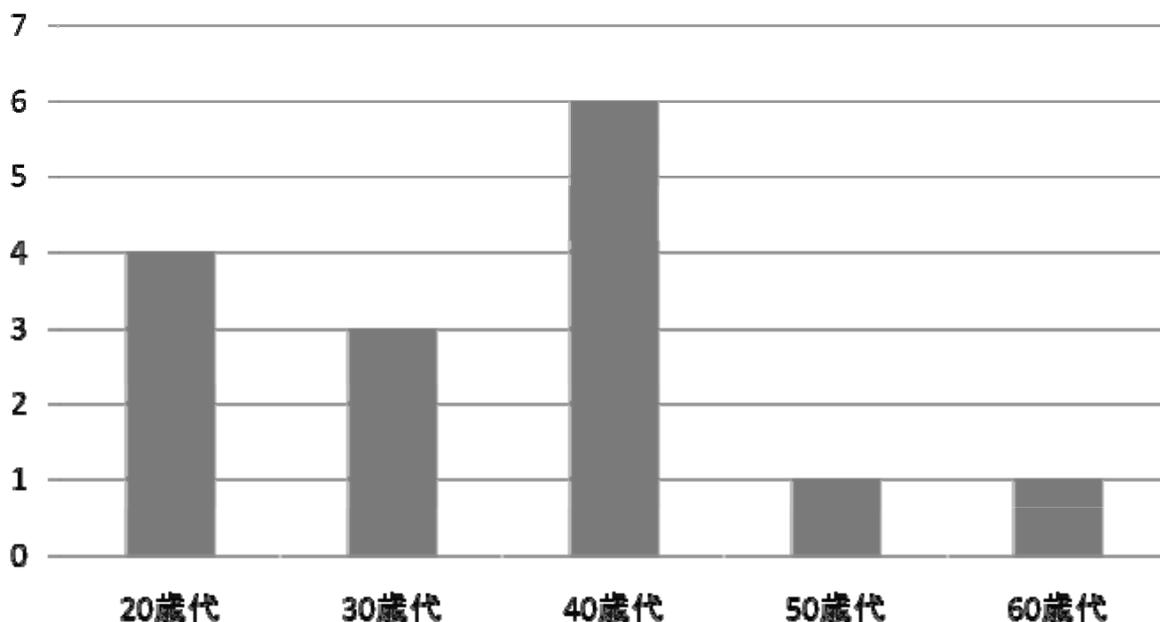


過量服薬による自殺者15人の通院期間

人数



過量服薬による自殺者15人の年齢分布(平均年齢45.7歳、27歳—63歳)



まとめ

- 自殺者の男女比は、ほぼ同じ(警察発表では7割が男性)
- 自殺の手段は、縊首が約4割(警察発表では6割)、他は多種にわたる
- 終診日から自殺する日まで、ほとんどが一ヶ月以内。1—2週間に集中
- 長期にわたって定期的に通院し、同居者のいる者が多い
- 過量服薬による自殺は、約1割
- 過量服薬の既往者の自殺の手段は、かならずしも過量服薬とはかぎらない
- 過量服薬による自殺者の診断で、F3は、自殺者全体に比べやや少なく、F2をはじめ多種にわたる